

令和5年度 世界へのトビラ事業 オンラインミーティング開催報告

1. 日時 令和5年11月24日（木）10:00~11:00
2. 会場 オンラインで各所（Zoom を利用）
3. 参加者 7名（外国人講師 5名 / アドバイザー 2名）
4. 開催内容 自己紹介、事務局からのお知らせ、その他意見交換。

（1）派遣講師決定までの流れとアドバイザーの役割の確認

【基本の流れ】 ※青文字の部分をアドバイザーが担当

学校からトビラ事業申請が届き次第、協会から学校へヒアリング
開催概要が確定次第、アドバイザー募集（メール一斉送信）

↓

アドバイザー決定
学校に決定の連絡

↓

講師募集（メール一斉送信）

↓

締切後、応募者リストを協会がまとめ、アドバイザーに共有

↓

学校のリクエストや国籍バランス等を考慮した上で、アドバイザー&協会
で派遣講師を決定

↓

派遣決定講師へアドバイザーから連絡

【定員を超えて応募があった場合】

→応募者の中で今回派遣しない講師には協会からその旨を連絡

【応募が少なく定員が埋まらなかった場合】

→国籍バランス等を考慮の上、講師の候補者に打診する

協会は登録講師リストの中から国籍・居住地・派遣回数
のバランス等を考慮した上で、候補者に関する
アドバイスや紹介を行う

●アドバイザーからの意見

アドバイザー歴がまだ浅いため、知っている講師の数も限られる。見ず知らずの講師に自分から連絡をして打診するのは憚られる。

●講師の意見

面識のないアドバイザーから電話がかかってきたら確かに驚くこともある。アドバイザーから直接打診があると、わざわざ自分に声をかけてくれたから一緒に参加してがんばろうと前向きな気持ちになる。アドバイザーが慣れないうちは協会からサポートが必要だが、面識のある講師へは直接アドバイザーから連絡すると良い。

●協会からの回答

本年度以前は、面識あるなしに関わらずアドバイザーが講師候補の方へ打診の連絡、講師決定までの調整を行っていた。今年度からやり方が変わり、募集時に協会が間に入るようになったため、面識のない講師に直接アドバイザーが連絡することへのハードルが上がっている感がある。授業やオンラインミーティングで面識のある講師が候補者の場合、直接アドバイザーから連絡をとって調整をお願いしたい。面識のない講師が候補者の場合は、希望があれば協会から連絡をとるようにしたい。

(2) 講師人数が少人数の場合の募集について

派遣講師人数が2名以下の少人数募集の事業で一斉メール募集をしたところ、多くの講師から応募があったため、多くの方にお断りのご連絡をすることになった。

少人数募集の時は、一斉募集ではなく、協会の方で直接候補者に声掛けをした方がいいのでは？という講師の声もあった。みなさんの意見を伺いたい。

●講師からの意見

少人数募集の場合は、協会の方で個別に声掛けをして決定する方が良い。多くの方が時間を確保して応募するので、協会や講師の労力を考えると、お断りは少ない方が良い。

●協会

少人数募集の時は、今後は一斉募集ではなく直接打診をする方法も併用していきたい。

(3) 英語力等、特別なリクエストがある場合の募集について

英語が得意な講師の募集など、学校側から特別なリクエストがある場合がある。

その場合、ミスマッチがうまれないように、募集メールの上部に、**ハイライトで強調して**分かりやすく要件を書くようにする。講師の方々には、内容をしっかり確認いただき、応募いただくようお願いしたい。

(4) 2024年2月開催の研修実施について

近年オンライン開催の研修会だったが、今年度は対面での開催を予定。

日時：2月22日(木) 13時～16時

場所：北浦和・埼玉県浦和合同庁舎（当協会の本部がある建物）5F 第5会議室

内容：前半（13時～15時は研修、15時～16時は交流会を予定）

●研修会の内容アイデア・意見

- ・添付ファイル（パスワード付き）のダウンロード・開封の仕方の講習
- ・全体会のやり方紹介（これまでの例やそれぞれのやり方を紹介しあう）
- ・SDGsに関わる授業例
- ・いろんな国やトピックについて色んなバリエーションの授業例紹介

★引き続き、研修会の内容のリクエストやアイデアがあれば協会までお知らせください。